

市議会での担当委員会は、産業建設委員会

委員会の所管一覧 所管事項

- 農政・林業・農林土木・中山間地対策・農畜産振興・農業支援センターに関する事項
- 商工振興・観光事業・雇用対策・勤労青少年ホーム観光情報センターについて
- 水産振興・漁港について
- 国土調査について

- 一次六次産業の人材育成・フィールド教育の推進 高等教育機関の誘致について
- 農業委員会に関する事務について
- 道路・橋梁・河川・用地・工業等技術管理について
- 都市計画・公園緑地・下水道・浄化センターについて
- 市営住宅・建築設備・建築指導について
- 水道事業の管理・運営について

活動日誌

- 9月 9日 自民党議員会
- 9月 11日 市議会議員 就任
- 9月 13日 自民党議員会
- 南予支部高等学校定時制生徒生活発表大会
- 自民党議員会
- 9月 14日 宇和島市アクアスロン大会打ち合わせ (宇和島トライアスロン協会)
- 9月 17日 全員議員協議会
- 9月 18日 自民党議員会・市議会臨時議会
- 9月 21日 国際ソロプチミスト20周年記念講演会
- 9月 24日 新人議員勉強会(財政)・自民党議員会会派月例勉強会 (浮体式風力発電実証施設誘致について)
- 9月 25日 宇和島東高定時制 ナイトカーニバル運動会
- 9月 27日 9月定例議会・議案説明会
- 自民党宇和島支部会
- 宇和島東高定時制卒業式
- 10月 3日 FMがいや 収録(新人議員特集)
- 10月 4日 うわじま牛鬼まつり実行委員会
- 10月 6日 和霊校区市民運動会
- 10月 7日 市議会提案説明会
- 定例議会一般質問 質問通告
- 10月 8日 市立病院視察(陳情書対応)
- 10月 12日 宇和島書道連盟書道展
- 宇和島さんさ伝承普及会 お披露目会
- 10月 13日 宇和島市体育の日記念アクアスロン大会
- 自民党宇和島支部議員会・自民党宇和島支部総会
- 10月 15日 市議会本会議(一般質問)
- 市議会全員議員協議会
- 大浦天満神社奉納相撲
- 10月 16日 市議会本会議
- 菊池県議(松山市)報告会
- 10月 20日 体育の日記念市民運動会鶴島大会
- きなはいや吉田三万石2013(吉田産業祭)
- 山本公一代議士パーティー
- 10月 21日 市議会総務委員会
- 10月 22日 市議会厚生委員会
- 知事陳情

- 10月 23日 市議会教育環境委員会
- 市議会産業建設委員会
- 吉田走る会
- 10月 24日 第64回全国漁港漁場大会(松山大会)
- 宇和島青年会議所シニア例会
- 10月 25日 自民党勉強会 (交付税一本算定における今後の財政状況について)
- 10月 26日 青少年健全育成について勉強会 (市議会一般質問報告)
- 10月 27日 宇和島市駅伝(宇和島クラブ・7区)出場
- 10月 28日 市議会定例会
- 10月 29日 第35回愛媛平成市議の会 松山市研修会など



10月8日 市立病院視察(陳情書対応)



10月22日 市議会厚生委員会



10月22日 知事陳情



10月24日 第64回全国漁港漁場大会(松山大会)



10月29日 第35回愛媛平成市議の会 松山市研修会

活動報告

9月11日 市議会議員 就任

会派は、自民党議員会。支持できる政策が多い政党である自民党以外に所属する政党はないと考えておりました。また、市政与党に所属することに関しましても、石橋市長とは、市政改革を一緒に進めてきた経緯もありますし、前回の市長選に立ち上がったことも、決して反石橋の旗印で立ったものではありません。いままでご支援いただいた方の中には、与党会派に所属することは、ご期待に添えない点があるのかも知れませんが、あくまでも「是は是、非は非」であります。何でも反対ではなく、批判だけするのでもなく、提案型の議員活動をして、宇和島を変えていきたいと思っています。最大会派である自民党議員会がまとまれば、多くのことが実現できます。市政にきっちり皆さんのご意見をお届けする手段としても力のある最大会派に所属することが、最も有効であるとも思っています。どうぞ、今後とも情報やご意見を頂きますようお願いいたします。その情報やご意見を市政にぶつけてみたいと思います。



9月24日 会派月例勉強会(浮体式風力発電実証施設誘致について)

国が進める海洋再生可能エネルギーを利用した発電技術を、地方公共団体と連携して行う公募事業にエントリーしようというものです。具体的には、日振島沖に風力発電施設を浮かせて(浮体式)、その電気を送電ケーブルに乗せ、既存の電力事業者の電源系統に接続させることを計画しています。送電ケーブルの敷設費用や変電施設の新設コストが多額であることから、将来的な事業フィールド(実証実験から実用施設へ)としての海域の確保まで考えて検討し、アピールしていくことが必要ではないかと思われました。海洋構造物の魚礁効果という付随的プラス面もあるようです。



10月4日 うわじま牛鬼まつり実行委員会

本年のお祭りの反省会としての委員会でした。決算・事業報告の中で、公式サイトへの来訪数に触れてありましたので、サイトへの来訪時期や来訪目的の分析などを進めて、地域への来訪誘導や地元商品の購買へとつなげていけるよう、いつそうの戦略を練っていただけをお願いいたしました。



10月23日 市議会産業建設委員会

先般の本会議で付託された議案についての委員会審議。

○政策決定・事業の優先順位の決定の過程について、「見える化」をはかっている。決定のプロセスを知っていただくこともとても大切なこと。あるいは、自分たちの要望がどういう経緯で採択・不採択になったのか。また優先順位が後順位になったかを知っていただくことは大切。見える化により、採択基準が公平公正であることの証明ができる。そして、現市政の政策というのも明らかになり、市民が政治を選択できる重要な情報となり得る。

○諸団体の負担金の意義を説明できるか？他の自治体も入っているからという理由が第一であってはだめ、毎年毎年、参加・負担について、当たり前のことでなく、0ベースで検討して欲しいということ。意味がないと思えば、参加を取りやめる勇気を持ってほしい。

○イベント企画等の外部委託を見直すべき。いやし博に象徴されるように、イベント企画会社に多くを依存すると、地元として得られるものが極めて少ない。たとえ、短期的には失敗も多く華やかなことが出来ないことがあったとしても、地元で考え行動していくことで、地元の経験値を上げることができる。「脱丸投げ」以上三点意見を申し述べました。

10月25日 会派月例勉強会

交付税一本算定における今後の財政状況について

合併を進めるために、特例として合併の後一定期間は合併前の市町村ごとに算定した交付税を合計した額を保証しますからという給を配った制度、いわゆる「合併算定替」した交付税が、合併後10年たつ28年度から5年間で段階的に減額されて、「一本算定」(一つの団体として計算された額になるという危機= (宇和島では、25年の普通交付税額から21億円減っていく)。ことに対する見通しと対策について、説明を受けました。諸々の歳入予測の説明までしっかりといただきまして、人件費・扶助費・公債費という義務的経費の歳出額の推移も教えていただき、とてもわかりやすい説明でした。

私は質問で、受け取り消費税と支払い消費税の差額について試算されているかを伺いましたが、受け取り消費税(地方消費税交付金として受け取れる額)の試算はありましたが、課税事業者から購入するサービスや物品について賦課される消費税額の3%の増税に伴う支出額の増大分については試算されていないという回答でした。自治体としても、3%の消費税増税は大きな負担になるのではないかとと思うので、是非に試算をしてもらいたいものです。